

見つけたことを映像にして発表しよう

サマーキャンプの午後の部では、iPadの動画作成アプリなどを使って、午前中に撮った写真や動画をもとにグループで映像作品を作りました。

Numbersを使って、午前中に見つけたことをメモに書き出しながら発表する動画のストーリーを考えました。最後にみんなの前で発表をしました。



①見つけたものや不思議なものなどをカードに書き出します。また、描画も行いながらメモしてイメージを共有します。(小学生)



②「溝口露頭の前で解説をする」様子をグリーンスクリーンをバックにして撮影しています。この後iMovieで動画を合成しました。(写真右下)



③わかったことやわからないこと、もっと知りたいことをカードを動かしながらグループで検討しています。検討後、専門家の先生にさまざまな質問を行いました。(中学生)



④小学生がグループごとに作品の発表を行いました。伝えたいことを明確にし、見る人がわかるように工夫された動画が上映されました。

伊那市 ICT サマーキャンプの実践をもとに推進センターで編集させていただきました

Numbersを使って不思議に迫るストーリーを考える



1. 見学中に気になったものを、四角メモに書き出そう (中学生の話し合いから)

見つけたもの、不思議なもの、疑問に思ったもの、興味を持ったものをカードに書き込んでいきます。自分の色を決めて4人で同時に書き込んでいきます。必要に応じてカードを増やしていきます。

2. 四角メモを2つに分けよう (中学生の話し合いから)

↑上のカードをわかったこととわからないことに分けます。

3. グループに分けよう (小学生の話し合いから)

↑さらに似たものを丸で囲むなどして動画にしたいテーマを絞り込んでいきます。

4. テーマ決定 (中学生の話し合いから)

このグループワークをもとにして動画の作成を行いました。

私たちがまとめる「気になったこと」は、

こんなことがわかりました

- 海でできたものと大陸から来た
- 海で溜まったサンゴやプランクトンが、土になった物
- 火山で焼けた石
- 岩の材料が違う
- 岩の色が違う
- 岩の硬さが違う

Numbersはさまざまな使い方ができるアプリです。伊那市「ICT活用教育 小中学校カリキュラム」では4年生の「折れ線グラフ」での活用として位置付けられていますが、表計算枠を取り去って大きなホワイトボードとして活用することで活用範囲がさらに広がっていきます。

サマーキャンプでも午前中のフィールドワークで学んだことを整理することに活用しました。ページという制限がないので左図のようにグループでの思考過程を追っていくような学習カードができあがります。

共同編集を可能にしていますのでそれぞれの考えを反映させ、他のグループの取り組みの様子も見ることができます。

Numbersには写真、ビデオ、オーディオ、Webビデオ、イメージギャラリーなどが挿入できます。また、描画も可能ですので幅広い活用が期待されます。

また、表計算やグラフに加えてフォームでの入力も可能です。



共同作業の中で、描画してイメージを共有したりKeynoteに書き込んだ画像を貼り付けて共有したりしていました。